

KAORI UENO JAZZ CONCERT 2024

J:COM北九州芸術劇場

中劇場 福岡県北九州市小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州内
【TEL】093-562-2655

11 / 3
日

13:00 open / 14:00 start

前売一般: 5,000円 (当日: 5,500円)

チケットプレイガイド

- チケットぴあ Pコード 276052
- 小倉井筒屋新館8階
- リバーウォーク北九州5F (Q-station)
- 松田楽器店

18歳以下のお子様を無料ご招待! (先着120名様)

その保護者様も半額でご来場いただけます。 (先着79名様)

詳しくは、右記QRコードへ



お問い合わせ 080-9102-5664 (HART HARMONIES)



BASS バリー・スティーヴンソン
BARRY STEPHENSON



DRUMS ダリアン・ダグラス
DARRIAN DOUGLAS



TRUMPET 菊田 邦裕
KUNIHIRO KIKUTA



ALTO SAX 浦 ヒロノリ
HIRONORI URA

主催 合同会社 HART HARMONIES

後援 北九州市 北九州市教育委員会
西日本新聞社

助成  文化庁

Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

[劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業]

PROFILE



上野 香織

ピアノ

KAORI UENO

福岡県北九州市出身。幼少の頃より、ピアノ講師である母の影響を受けピアノを始める。高校卒業後、田村勝哉氏に師事。2005年より本格的にジャズライブ活動を開始。2011年より北九州芸術劇場にて年に一度コンサートを開催。例年ソールドアウトにて好評を博す。2014年、日韓国交正常化50周年記念事業に井島正雄trioで参加、韓国ソウル市にて演奏。ファーストアルバム「LUCKY STRIKE」を全国リリース。平成26年度北九州市市民文化奨励賞受賞。2015年、NHKFMセッション2015に自己のトリオで出演、渋谷NHKふれあいホールにて公開録音。2017年、3月O-1ピザ(アーティストピザ)を取得後、渡米。有名ジャズクラブMezzrow、Cleopatra's needle、Rockwood music hall等で演奏。2018年セカンドアルバム「DESTINATIONS」をニューヨーク在住の気鋭ミュージシャンとのクインテットにて録音、リリース。同年10月、レコーディングミュージシャンを全員招き日本10箇所ツアーを行う。以後例年アメリカよりミュージシャンを招き全国ツアーを行っている。2023年初のライブレコーディングによる「BLACK HEART」を発売。「ジャズ批評」2023年ジャズ・オーディオディスク大賞インストルメンタル部門にて7位にランクイン。過去共演ミュージシャンに岡崎好朗(tp)、岡淳(ts)、金子晴美(vo)、川嶋哲郎(ts)、多田誠司(as)、TOKU(vo,flh)、細川綾子(vo)、向井滋春(tb)、安カ川大樹(B)、YAS岡山(ds)等。



BARRY STEPHENSON

バリー・スティーヴンソン
ベース

ニューヨーク在住、アコースティック/エレクトリックベーシスト、作曲家。「今最も引く手数多のベーシストの一人」として称賛されている。2020年にリリースしたアルバム「ジ・アイコンクラスト」はNAACP イメージアワードのアウトスタンディングジャズアルバム(インストルメンタル部門)に自主制作アルバムとしては唯一ノミネートされ、オフビートマガジンの2020年トップ50にも選ばれている。デビューアルバム「ベーシック・トゥルース」や「ジ・アイコンクラスト」はほぼオリジナル曲で構成されておりASCAPルイ・アームストロング賞等を受賞。映画音楽も手掛けており、最近では短編映画賞を受賞した「Truth .Inc」などがある。世界各国でツアー演奏、モントレー、モントルー、ニューポート等多くのジャズフェスティバルにも参加しており、またアメリカの人気テレビ番組「ザ・レイトショー」でジョン・パティステのバンドにてレギュラー出演。「マーベラス・ミセスメイゼル」「ゴッドファーザー・オブ・ハーレム」等アメリカのテレビドラマにも出演している。ニコラス・ペイトン、デイビッド・サンボーン、フレディー・コール、ダイアン・ショー等著名なジャズ、ブルース、ソウルミュージシャンと共演。



ダリアン・ダグラス
ドラム

ミシシッピ州、ジャクソン出身。11歳からアカデミック・パフォーマンスセンターにてペリー・コンボ教授のもとで音楽の勉強を始める。2008年からは活動の拠点をニューオリンズに移し、ブランフォード・マルサリス、ウイントン・マルサリスの父であり、数々の著名ジャズミュージシャンを育てた教育者/ピアニストエリス・マルサリスの専属ドラマーを2012年まで務める。

DRUMS

DARRIAN DOUGLAS

今までに世界中の30以上のミュージックフェスティバルで演奏し、共演者にはウイントン・マルサリス、ビクター・ゴーンズ、アイバン・メイフィールド、ゴドウィン・ルイス、ジャズミア・ホーン、ポップ・クランショウ、エリス・マルサリスなどがある。若手音楽家の育成プログラム「セカンド・ライン・アーツ・コレクティブ」を立ち上げるなど、後進の育成にも力を入れている。2024年現在ニューヨーク在住。



TRUMPET

KUNIHIRO KIKUTA

菊田 邦裕
トランペット・フルリゲルホルン 作曲編曲家

2歳からクラシックピアノを学び、管楽器奏者で調律師でもある父、叔父の影響で9歳からトランペットを始める。Roy Hargrove氏に影響を受けジャズに興味を持ち、20歳にて沢野源裕氏に師事。歌うトランペットとして世界的に評価され、youtubeの再生回数が270万回を達成。これまでに、TOKU氏、ラッツ&スター桑野信義氏、Erika Matsuo氏、Art Hirahara氏、Jacob Koller氏、MONKEY MAJIK氏、近藤淳氏、深井克則氏、秩父英里氏、小曾根真氏、片倉真由子氏、江藤良人氏、曾根麻央氏、David Mathews氏、石若駿氏、宮間利之とニューハード他多数のミュージシャンと共演。2022年、Eri Chichibu Large Ensembleにて『丸の内COTTON CLUB』に出演。2023年、Erika Matsuo 韓国、全国ツアーに参加。横浜Jazz promenadeに出演。2024年放送ドラマ『地球の歩き方』エンディングテーマmonkey majik『The Good Life』に参加。自己のリーダーバンドやゲストとして東北を中心に演奏活動、数多くのCMやCDのレコーディング、学校指導、個人レッスンを行っている。



ALTO SAX HIRONORI URA

浦ヒロノリ
アルトサクソ

1986年生まれ。福岡県出身。13歳からサクソを始め、ポールデスモンドを聴きジャズに興味を持つ。パークリー音楽大学へ奨学金を得て入学。在学中、多数の学内コンサートへ選抜され出演。2011年10月には日本人として初めて、ウクライナで開催される国際ジャズフェスティバル「International Days of Jazz Festival in Vinnitsa」に出演し好評を博す。その他にアジア、ヨーロッパなど国内外での演奏や、TV番組、CM等のレコーディングにも多数参加。2020年1月には、アリーナツアーのメンバーとして、2021年には日本レコード大賞と紅白歌合戦へ、MISIAのバンドメンバーとして参加。ジャズのみならずゴスペル、ソウル、ファンクなどから得ている自由な音の表現は各方面から高い評価を得ており、現在は福岡県糸島市を拠点に全国各地で活動を展開している。2019年7月には、デビューアルバム「Grateful」をリリース。

KAORI UENO JAZZ CONCERT 2024